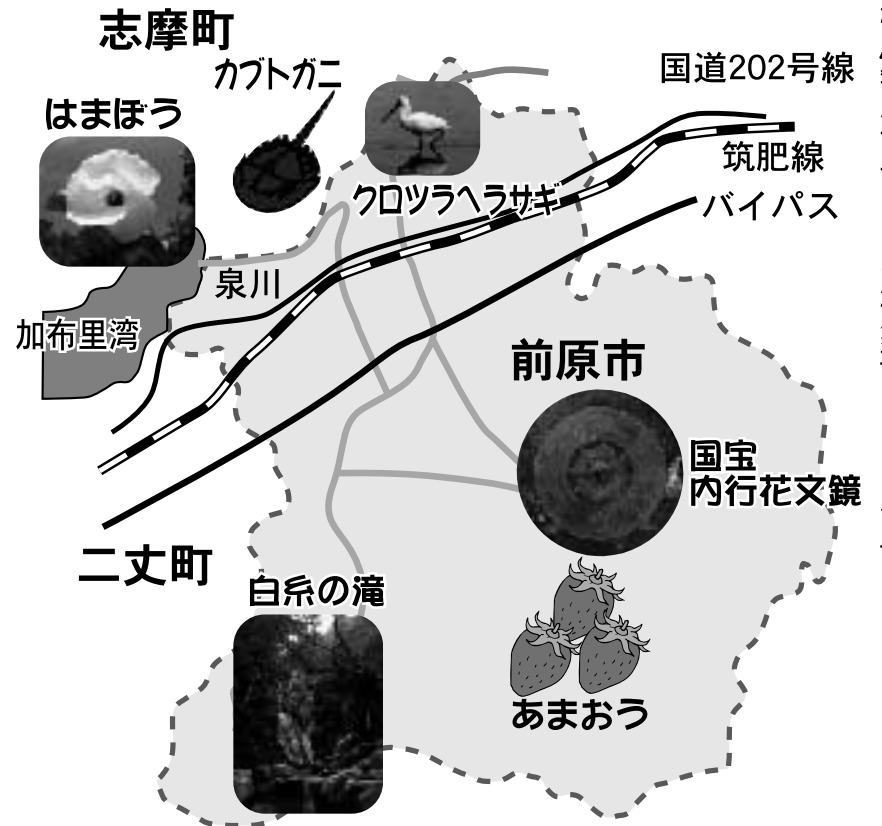


観光客受入のための整備をし、名勝白糸の滝、国宝の指定を受けた内行花文鏡を含む平原遺跡群とを結ぶ観光ルートを構築することです。



前原市はあまおうを始め新鮮な農産物の生産基地でもあるのです。

観光ルートにこの生産基地と商店街を回遊してもらう新たなルートを創設することです。現在年間百

万人の人が我が前原市を訪れていますがかなりの増加が見込まれるはずで、「人と自然が共生する文化創造都市・まえばる」作りとも合致します。実現するにはいくつもの課題があります。

市民と行政が目指す方向を共有することで前原市の活性化は実現できるのです。微力ながら私もねばり強く夢実現のために頑張りたいと思っております。

### あとがき

今回より前原市活性化策を提案して行きたいと思えます。「元気な前原、住みたい前原」作りのため皆様からのご意見、ご提案をお聞かせ下さい。議員活動の参考にさせていただきます。よろしくお願ひします。

元気な前原・住みたい前原にするために、皆様のご意見、ご要望をお聞かせください。

**小島忠義事務所**

〒819-1112 福岡県前原市浦志二丁目5-20

TEL(092)322-0155

FAX(092)322-4900

E-mail:kojima-tadayoshi@iwa.bbq.jp

## 小島忠義の 議会通信「かけ橋」 Vol.2

福岡西方沖地震発生から丸二年、玄界島の復興も軌道に乗り、島民の皆様も島での生活が再開されました。

前原市も厳しい財政事情の中、三月一日より執行部提案の十九年度予算及び六十の議案と請願の審議を行うため約一ヶ月に渡る日程で三月定例議会が開催されました。私も新人議員として初めての一般質問に立たせてもらいました。

皆様の声の代弁者として謙虚に耳を傾け、より一層の勉強を重ね「元気な前原、住みたい前原」作りのため一生懸命頑張る覚悟です。

一般質問の内容に関しましては五月十五日号の広報「まえばる」に掲載予定です。ここで省略させていただきます。



## 十九年度一般会計予算の特色

「厳しい中にもめくもり予算」をキャッチフレーズに歳入歳出総額は一八四億一、九〇〇万円です。(対前年度比 3.9%増加)

- 自主財源は景気回復及び税源移譲により対前年度比七億七、七〇〇万円の増加
- 依存財源は地方交付税等の減少及び定率減税廃止等により前年対比一〇億一、八〇〇万円の減少

※財源不足は貯金である財政調整基金の取り崩しで対応しております。

### 特色1 高齢者に対する新規施策として主なものは

- ①高齢者の健康づくりの場を提供し、閉じこもりの防止、要介護状態への防止を図るための「ふれあい生きいき活動事業」が開始されます。
- ②生きがい健康づくりデイサービスマ事業の拡大
- ③プールを利用した介護予防教室の開設等。元気で長生きしてもらえるよう新たな事業が始まります。

